

関防会歴史勉強会

中島サロン

第58回

12月5日

歴史

ウクライナの歴史は西暦9世紀から始まっている。ウクライナの前身となる最初の国家とはキエフ大公国(別名:ルーシ)である。キエフ大公国は東スラブ諸民族の国家であり、キエフの周りに住んでいた部族は後のウクライナ民族の先祖となり、キエフより北方面に住んでいた部族は後のベラルーシ民族の先祖となり、キエフより北東方面に住んでいた部族は後のロシア民族の先祖となった。東スラブ民族が独自の民族信仰や文化を持っていたのだが、当時の国際社会で認められようにはキリスト教に改宗する必要があったので、キエフの権力者は国民の反対や抵抗を押し切って強制的にルーシをキリスト教国家にしてしまった。私は、外交戦略として、キリスト教の受け入れはやむを得なかったとは理解しているが、やはり個人的な感情としては、国民全員を強引にキリスト教に改宗させることは間違っていたのではないかと考えている。

13世紀キエフ大公国がモンゴル襲来によって滅ぼされ、1240年にキエフは陥落してしまった。その後はウクライナ民族中心国家となったのはハルィチ・ヴォルィーニ大公国だった。現在の西ウクライナ、東ポーランド、西南ベラルーシを占めていたこの国家がやむなくモンゴルの支配を認め、何とか民族の滅亡を防ぎ、内政自治を守り切ろうとした。しかしそのハルィチ・ヴォルィーニ大公国も1349年に王座の後継者不在で滅亡し、ポーランド王国とリトアニア大公国に分割された。同時にキエフを含めた中央ウクライナ地域を100年続いていたモンゴル支配はリトアニア大公国によって開放され、ウクライナの大半はリトアニア大公国の領土になった。その後200年間続いていたリトアニア大公国の支配は非常に寛大で、正に他民族協和の時代であった。実際はリトアニア大公国ではリトアニア人が少数であり、人土の7〜8割くらいはウクライナ民族、ベラルーシ民族などのスラブ民族だった。その時代はルーシ語やルーシの習慣が尊重されていた。

1569年にはリトアニア大公国とポーランド王国は合併し、ポーランド・リトアニア共和国という新たな国家ができたのだが、その中で事実上ポーランド人が一番大きい影響力を持っていた。ポーランド人はリトアニア人よりの人口も多いスラヴ系で高いので、リトアニア大公国時代の寛大さが次第に消えていき、ポーランド式の支配が始まった。もっとも反発を誘発したのは、農奴制を始めとする農民搾取、ルーシ語の軽視やポーランド語の押し付け、カトリック教の押し付けと言った政策であった。しかし、ポーランド・リトアニア共和国ではウ

クライナ民族にとっては悪い面ばかりだったわけではなく、ウクライナ系貴族も膨大な土地を私有し、内政にある程度の影響力を持っていた。また、ルーシ語(後のウクライナ語)は軽視されたとはいえ、禁止されていたわけではない。

ウクライナの分割

1648年にポーランド人支配に対する反発が拡大し、ウクライナ人(コサックや農民の民兵)が蜂起を起した。最初は蜂起勢力はそれなりに勝ち進み、一時期ワルシャワでさえ攻略できるのではないかといい勢いだったのだが、停戦や戦争の再勃発などで時間が経つ、ポーランド側は勢力を立て直して、蜂起側が次第に劣勢に立たされた。このまま行けば負けるだろうと判断した蜂起側の指導者はモスクワ王国に軍事支援を要請した。その結果1654年にウクライナ側とモスクワ王国の間で同盟が結ばれた。同盟の条件とは、ウクライナがモス

ウクライナの歴史と現状

講演要旨

京都大学 留学中 グレンコ・アンドロリー (28才)

クワ王国の保護国となり、モスクワ王の主権を認める代わりに、モスクワ王国は内政独立を認め、ポーランドからウクライナを守るというものだった。しかしポーランドとモスクワの戦争が長期化し、その結果、1667年にウクライナの領土はモスクワとポーランドの間で分割された。更にポーランドの弱体化とともにモスクワは段々西へ支配権を拡大し、ウクライナ領土の大半はモスクワ王国、後はロシア帝国の支配に入った。私の考えではモスクワ王国に支援を頼んだことはウクライナ史上最大の失敗だった。実際、ポーランドと妥協し、自治権を認めてもらう余地があったにも関わらず、ウクライナ蜂起の指導者達はポーランドと和平交渉をする機会を逃してしまい、自らの手でウクライナの分割を誘発し、ポーランドより遙かに悪い支配者と呼び込んでしまったのだ。

苛酷なロシア支配

ロシア帝国の支配はポーランド時代と比べてもかなりの苛酷ものであった。18世紀後半にウクライナから一切の自治権が剥奪され、一時期廃止された農奴制まで復活さ

れた。さらにウクライナ民族の存在やウクライナ語の存在自体が否定され、それぞれロシア民族、ロシア語の変わった形だという風に解釈された。更にロシア帝国時代には政府の命令によってウクライナ語使用の禁止命令が何度も発布された。その他、ウクライナ人を大量にロシア内地に移住させ、ウクライナ領内にロシア内地の人間を大量に移住させることによって、ロシア帝国はウクライナ民族の滅亡を謀った。当然、独立運動家は勿論のこと、自治権やウクライナ民族の存在を主張していた言論人は厳しい取締り、長期投獄などの弾圧は日常茶飯事であった。

1917年にロシア革命によってロシア帝国が滅亡し、ウクライナは一旦独立した。ウクライナ人民共和国という名の独立国家が1918-1920年の間に存在していたが、ロシア赤軍に侵略され、滅ぼされてしまった。その後、西ウクライナ以外のウクライナ領土は強制的にソ連に組み込まれた。1918年時点のウクライナ人民共和国の領土は現在のウクライナより広く、ウクライナ民族が人口の過半数を占めていた地域を全部含めていた。ソ連に組み込まれた後に出来た「ウクライナソビエト社会主義共和国」(ソビエトウクライナ)から多く

の領土がソビエトロシアに委譲された。

スターリンの大虐殺

ソ連時代はウクライナにとって史上最も被害の多い時代であった。もし共産主義から被害を受けた国のランキングを作るとしたらウクライナは間違いなくトップになるだろう。ソ連による最も大規模なウクライナ人虐殺とは1932-1933年の人工飢饉であった。その時期ソ連内務省が大量に出動し、ウクライナ農業地帯の農民から全ての食料を没収していた。現代研究による当時人口統計の分析によればその年に餓死した人の数は200-600万人の間だと考えられている。それ以外に飢餓や虐殺は何回も繰り返されている。スターリンによる被害を受けた民族は沢山あったがウクライナ民族が受けた被害が一番多かった。なぜならスターリンはウクライナ人を一番恐れていたからである。ウクライナ人のアイデンティティが自覚めたらウクライナはソ連から分離し、ソ連が崩壊するという恐怖をスターリンは持っていたのであろう。ソビエトウクライナの経済発展を見てスター

リンが言った言葉は有名である。「このままじゃ我々はウクライナを失ってしまう」と。だからスターリンはウクライナ人のアイデンティティを潰して、ウクライナ民族を骨抜きにしようとした。そしてウクライナ国内にロシア人を大量に移住させ、ロシア内地と全く同じものにすることを企んでいた。

ソ連の謀略

共産主義から多大な被害を受けているがそれは日本との共通点もある。日本が共産主義から受けた被害は確かにウクライナよりは少ないとはいえず、それでも相当大きい。ソ連が1945年に始めた日本に対する騙し討ち侵略戦争の清算は未だになされていない。満州国への侵略やその滅亡、日本本土侵略や70年に渡る日本領土の占領、それらに伴う民間人の無差別大量虐殺やシベリア抑留など。そういったソ連による侵略行為に対して謝罪するどころか、その正当性をソ連やその後継者であるロシアは今でも主張している。更に言えば支那事変や日米戦争の勃発の裏にもソ連の謀略があることも周知の通りである。広い意味では、支那事変や日米戦争は、日本が起したのではなくソ連が起したと言ってもよい。そしてそういう意味では、第二次世界大戦で亡くなった350万人の日本人は共産主義の犠牲者であるとも言える。このように日本とウクライナはともに共産主義勢力から多大な被害を受けているという痛ましい共通点がある。



第二次世界大戦においては不幸なことにウクライナはソ連とナチスドイツの戦場となってしまった。この戦争には700-1000万人のウクライナ人が殺害されたと考えられている。しかし単にウクライナは戦場としての役割を果たしただけではなく参加者にもなった。ウクライナ独立のために戦っていた民族ゲリラ「ウクライナ蜂起軍」はこの大戦においてウクライナの正当な代表者となった。多くのウクライナ人はソ連軍に徴兵されて、ソ連のために戦っていたのだが、それはウクライナ民族が待ち望んでいた独立のための戦いではなかった。独立のために戦っていたのはウクライナ蜂起軍である。しかし、ウクライナ蜂起軍は最終的にソ連に負け、独立は叶わなかった。従って、私の考えでは、第二次世界大戦においてはウクライナは戦勝国ではなく敗戦国であるということだ。

以上のようにウクライナは非常に厳しく、悲劇の多い歴史を歩んできた。しかし何百年にも渡る民族の弾圧、民族浄化、虐殺などを受けても、ウクライナ人は自分の言語やアイデンティティを固

ウクライナの現状

2013年11月にヤヌコビッチ前大統領が欧州連合と結ぶ予定の協定を突然拒否した。そのとき国民がデモを起し協定を結ぶことを要求した。しかし前大統領が機動隊を出動させ暴力でデモを排除した。それに対して国民が反発し、更に大規模なデモが起った。大統領と国民の対立はその後三ヶ月間続き、挙句に、2014年2月に大統領が狙撃者を利用して、デモ隊員を100人以上殺害した。しかし自国民を虐殺したことに對する報復を恐れて、前大統領がロシアに逃し、ウクライナで政権交代が起った。

その後2014年3月にロシアはウクライナ南部のクリミア半島を占領し、これから半島はロシア領であることを宣言した。また4月以降はウクライナの東部でロシアが支援する暴動が始まり、武装集団はドネツィク州とルハーンシク州の殆どを占領した。この武装集団にはロシアが大量に兵器や戦闘員を送っていた。このままでは、ウクライナの半分くらいは占領されるだろうと明確になったときウクライナ軍はロシア支援の武装集団に占領された領土の解放作戦を始めた。2014年の5月から8月の間に大規模な戦闘が繰り返され、武装集団に占領された地域の殆どが開放されたが、8月末にロシアの正規軍がウクライナに侵略し、戦局が逆転した。ロシア軍はウクライナ軍より遙かに強いので、一時開放された地域の多くは再び占領された。9月にはロシアによる要求の多くを認めるミンスク停戦合意が結ばれたが、その後もロシア軍は停戦を無視し、小規模な攻撃やウクライナ軍への挑発を続けていた。2015年1月にロシア軍はミンスク合意を踏み躪って、再びウクライナ領内への更なる侵襲、占領地域の拡大を行い、戦争が再勃発した。その後2015年2月末に新たなミンスク合意が結ばれ、その条件はウクライナにとって更に不利なものとなった。その後、大規模な戦闘が消失したが、ロシア軍による小規模な攻撃やウクライナ軍への挑発、またテロ攻撃や民間人の殺害は今日に至るまで続いている。

この戦争とはウクライナにとってどのような意味があるのか。又、これを避けることは出来たのだろうか。出来たかもしれない。ロシアの要求を全て呑み、再びロシアの属国の立場に戻るという選択肢はウクライナには確かにあった。しかしウクライナ人は戦って、自主独立を守る道を選んだ。この戦争は他でもない、民族自決のための独立戦争である。



カラオケで軍歌を歌う
アンダー君
この戦争は他でもない、民族自決のための独立戦争である。

パラオ・ペリリュー島慰霊

4.5面に
続く

この度のパラオでの祭事は一年も前から、瀧野会長より参列の御下命を賜っていた。神職ならば拝命の後、何を置いても精進潔斎に入られるが、僧侶の場合、はたらき精進あげたの精進おとし等と言って、潔斎はどうなったのかと恥すかし、思いで悶々としていた。しかし御下命を拝したからは、我流でも精進潔斎をしなくては、近江神宮での大東亜戦争終結七十年奉告祭に参列し、パラオでの祭事に渡海する旨を御神前へ奉告する事から始めた。

近江神宮の御祭神なるは天智天皇で、昭和十五年に先帝陛下の御慮を奉じ、紀元二千六百年の一大事業として創建された当時の官幣大社である。

とここで私達は七十年前の終戦を、神武肇国以来の国難だと認識しているが、西暦六三三年の白村江の敗戦と百済滅亡は、大東亜戦争後の比ではなかった。多数の敗残兵士と在留邦人の引き揚げ、加えて百済王族の亡命と難民化した大量の百済人士の到来を想定しつつ、天智帝は大化改新の詔をもって国の政体を変更した上で、大津京遷都と近江令として万世一系たる不改ノ常典を定め置かれた。これにより、わが国史上最大の国難を乗り切られたのである。かく

して1280余年後の昭和20年、連合軍による第二の国難が襲来する事になる。先帝陛下は第一の国難と天智帝の聖業を、摂政になられる前から深く学んで居られ、故に大戦終結後は復員した国民等と共に君臣心を二にして、速やかなる復興を遂げる事が出来た訳である。かかる国史に輝く近江神宮にてパラオ渡海を奉告し、祭事の意識をより強

く自得する所となった。四月下旬にはバシー海峡で、天理教との神仏合同祭事をさせて頂いた。かつてフィリピンのレイテ沖で撃沈された軍艦の乗員の遺体が、台湾南部の海岸へ無数に漂着して、彼地の人々は火葬して鄭重に祀って下さったと聞く。その中には少年のような兵隊や黒人、はたまた明らかに白人でない兵士の痛ましい遺体も多数あったと教えて頂いた。七月には神戸の湊川神社

で由緒ある官祭に参列し、帝國軍人の精神的支柱たる「七生報國」にふれて、日本男児に生まれた事に感謝のまこと捧げた。

九月に入り、神道政治連盟大阪支部や念法真教団による大東亜戦争終結70年洋上慰霊祭に、本会の有志諸公の後塵に從って参加して、戦艦大和へ船上から献華させて頂いた。

以上、祭事に参加して、列およばざれど、至誠の會員に伍する所の当会前田事務局長とともに、赤心寄する祭事の大典に臨み、謹んで報恩謝徳の襟懷を言上す。

只今ペリリュー島に散華玉砕せられしわが將兵一万二千余柱、および連合軍將卒八千五百余柱におかれは、祖国の波濤をはるかにして、西太平洋の小島に英霊とし鎮まれしその魂魄を仰ぎ拝する時、御嘉賞十重に尚お余す所を忘れ得ず、この島は正に皇師皇軍の神苑にして、人類百万年の青史を顧るに干戈交ゆる第一等の聖戦なりて未だこれに勝る戦闘

次に翌日の表白を御高覧の教範として深く学ばれたい。

本日ここコロル島において帝國海軍の威武を慕う関西防衛を支える会長・瀧野晃吉を祭主に戴き、社稷の神祇官大阪護國神社柳澤忠磨大宮司を祭主に奉じ、これに從う會員三十余名。また今次拜礼あたわぎる本会前田事務局長、而して更なる名譽に浴するところ海軍大将たる古庄幸一國軍海上自衛隊幕僚長を賓師に奉迎し、殊には大日本國に在り、朝廟社稷の大典たる妙法を誦誦して久遠ならし軍神に、更なる弥栄と神力の増し益されん事を演説し、我等と



表白を奉読する小西住職

英霊に七生報國を誓う

妙見宗河楠教会住職 小西 正純

たるやある事なき、祖国の臣民ならびに大東亜

諸國人民への親愛なる海をも容るるにして、当今軍神となりてましませり。英霊の丹精に拝跪すれば、わが大八洲に寄する朝の潮音、夕への雪濤が間に、太古の軍兵さらに神武東征

も忘れぬ事なく、ここに御製と御歌を奉読して向軍の英霊を称賛してやまず。これが大意である。

かつ万世一系の祖国は破られず、天神地祇はたまた軍神が一縷に護らせたまう朝廟となりぬ。

願て帝國海軍將兵諸侯の

り、コロル島の聖戦蹟に楠正行公が辞世一首を謹詠して、太平洋の波路の華として英霊を讃歎し尚お尽きざるものなり。

英霊の至誠あふれる戦闘に護られて國体はなお破られず、更に海軍教育は世界に向けて、人間教育の何たるかを垂範した。わが國がユーラシア大陸の東漸の地で二文明圏を保持し得たのは七生報國の精神であり、この精神を次代に継ぐ事を軍神の前に誓う。そして帝國軍のみならず連合軍、殊にはその有色人たる兵士に對し、聖徳太子が日本國の根本経典と定められた妙法蓮華経を誦経して、恩誓を越え軍神の弥栄のましまさん事を、楠正行公の辞世を謹詠して祈るなりと、表白を奉読した。

兵卒に對しても、声高らかに経文を捧げたのは本會が嚆矢であろう。その経文に《大火に焼かれても、わが國土は安穩にして天人が充ち満つる清浄の地であり、神仏は無量の壽命を保つてこの地球に存在し続けるのだ》と、大變ありがたい文を綺羅星の如く連らねているのである。

前日のペリリュー島の帰路では、参加者各位に紙製の蓮弁を納めた豊紙を配った。豊紙には幕末の京都清水寺の勤皇僧・信海上人の一首 未はまた よらさらめやは あつさゆみ いる とにしほし 引きはなるともが臨書されている。各位これを詠みつつ、蓮弁を位これ詠みつつ、蓮弁を海原に流して頂いた。

一介の野僧が聖戦蹟で導師を拜命して早や10年。瀧野会長はじめ會員各位、そして柳澤大宮司の祝詞奏上の際、五位投地の礼を以って軍神に御奉仕させて頂く榮誉を授与して下さい。各位の御芳情に、深甚の感謝を申し上げて止まぬ次第である。(天謝九伏)



柳澤宮司の祝詞奏上の間、五位投地する小西住職

かへらじと かねておもへば梓弓 なき数に在る名をぞとむる

世に再び祖国に生まれ出でんとする強烈な生命の連続性と、日本民族の紐帯なきづなを言霊にした防人の秀歌と見なしてよい。

各位には表白と共に、丹誠こもる祈りを捧げて下さって、信海上人の歌を謹詠しては波路はるかに蓮弁を散華して頂いた。かかる熱祈に支えられて、祭事の導師を無事つとめられた己が倅は、これひとえに英霊のおかけと言つ他はない。

一介の野僧が聖戦蹟で導師を拜命して早や10年。瀧野会長はじめ會員各位、そして柳澤大宮司の祝詞奏上の際、五位投地の礼を以って軍神に御奉仕させて頂く榮誉を授与して下さい。各位の御芳情に、深甚の感謝を申し上げて止まぬ次第である。(天謝九伏)



旧南洋庁建物

英霊よ 安らかに 戦没者慰霊

パラオ・ペリリュー島



「西太平洋戦没者の碑」前で記念撮影



ペリリュー小学校全景



アルラン校長に記念品を贈呈する演野会長



祝詞奏上の柳澤宮司



「西太平洋戦没者の碑」の遠景 (ペリリュー島)



日本の資金で造られた橋



日本軍が立籠った洞窟



平成27年11月15日 パラオ慰霊の旅 コロール島 海軍墓地にて



平成27年11月15日 パラオ慰霊の旅 コロール島 海軍墓地にて

戦後71年を迎えました。昨年11月13日、16日パラオ共和国における関防会演習を主催した戦没者慰霊祭に私も参加させて頂きました。1万人以上の日本兵が75日間をかけた戦いで、玉砕された地です。家族や友人の事を思いながら、なされた悲しい場所です。手掘りの洞窟、鏑

果てた戦艦機、戦車等が訪れた私達に何かを語りかけているように。

ペリリュー島ならびにコロール島への慰霊式典には大阪護国神社の柳澤忠憲宮司を祭主とした神式と、妙見宗河補教の小西正純僧

靈感を呼ぶ玉砕の島ペリリュー

会員 山田 勇 (63才・京都市)

ボトト隻に分乗し、ペリリュー小学校を訪問し、関防会を代表し演野会長よりフロン校長(女性)へ羊用リンや遊具の贈物の贈呈式がありました。南洋3島に育館は屋根のみで床はコンクリートでした。これも日

話をしていたところ、ペリリュー島の離魂化した日。科学的には何も証明されていませんが、目に見えない力が有ると思えます。今回のパラオ慰霊を計画した関防会スタッフの皆様、遠路観光の北嶋社長に心より御礼申し上げます。有難う御座います。



山田氏と古庄元海幕長 (右)

島全体が「戦争の悲劇」伝える

▼高速ボートで約1時間
南方戦線の激戦地の一つで、今春には天皇皇后陛下が慰霊に訪れたパラオ諸島のペリリュー島へ、11月13日、大阪の関防会を支える会(演野晃吉会長)の一行38人ともに慰霊訪問した。

パラオからペリリュー島へは、隻のボートで移動したが、海は晴天で風は穏やかなので、外洋へ出るのを心配し、速度が50〜60キロの高速のため、波を叩いて飛ぶ感じが、波しぶきを浴び、悲鳴を上げる人も、大自然が作り出した優雅な島々を眺めていると、その美しさに見とれ、こんなところで戦争があったとは到底思えない。約50分を北端の波止場へ着く。

ペリリュー島は、日本から約千、南の太平洋にある南北約10キロ、東西3キロの小島。パラオ州の一つで、パラオ島の南約50キロに位置する。戦局が悪化した昭和19年9月15日、米軍が上陸作戦を開始、4万人以上の米軍を前に日本軍は一方の兵力で立ち向かった。米軍は3日で陥落させると断っていたが3ヶ月の死闘が続き、その強靱さに彼らは「天皇の島」と言った。日本の生存者は約400人とされる。

「ほら、行くと戦車が赤茶けた姿をさらしていた。土砂がたまり勢よく吹かしている。草花の青がまぶしく、霊の生まれ残りかと思わせた。」

▼野さしの司令部跡地
さらに行くと司令部跡が現れた。頑丈な鉄筋コンクリート建築で天井だけの荒れ果てた残骸は巨大な亡霊の城に見えた。中に入ると艦砲の砲弾が撃ち込まれたので、10メートルも大穴が空き、1階から青空が望めた。壁はほとんどぶち抜かれていたが柱と井には弾痕がまじり刻まれていた。

▼山中に巨大な洞窟
洞窟の入口に中の図面が示されていたが、坑道が網の目のように連なっており「巨大な洞窟群となっていた。真っ暗な坑道を前に人へ進んでいく。電池で照らされたところには割れたヒールや酒瓶が地中に埋まっていた。こんな穴でも慣れれば体が順応するのだろうか。」

▼パラオに帰島。夜は港のストラップで乾杯、交流を深められた。

▼海軍墓地でも慰霊祭を行う
投宿しているペリリューホテル近くの海軍墓地で慰霊祭を行った。東京から駆けつけた第26代海上幕僚長の古庄幸一氏も参席、パラオ日本大使館一等書記官兼領事の川添忠吉氏も参席になった。

▼コロール島も戦争の傷跡
パラオ本島からコロール島へは橋を渡らなければならぬ。昔の橋は米軍の艦砲で破壊され朽ちた姿をさらけ出している。その横に立派な鉄筋の橋がかけられていた。島へ入り数分のところがコロール島行街だ。まず南洋庁の支庁がいかに美しい姿を留めている。続いて警察と消防署は一つの建物だ。公民館には豊富な木材の彫刻画が目立つように飾られている。石川ガイド(日本人)によると、元南太平洋本部のあったところ。そこから歩いてゆける距離に水陸両用の戦車がさらけ出されていた。なぜか機銃が上部に置かれていた。飛行場跡地には草が生い茂っていたが、ジャングルが直線に切り開かれていた。この浜は遠征で水上飛行場基地でもあった。この浜は遠征で米軍上陸の「こらえ」だった。

帰路を渡った橋には「ジャン・パラオフレンドシップ」の標識があった。いったんホテルへ帰ると2時間は休憩タイム。食へかけた。最後の晩餐は「パードクル」を満喫。大に盛り上がった。

23時20分ホテル出発、グラムで乗る艦内乗港へ9時30分無事帰国した。

▼戦跡保存し観光立国へ
ペリリュー島やコロール島に来て感じるのは、戦争の遺跡が島の隅々まで大切に保存されていること。法律で移動や破壊は禁止されているから。南方のこのような島までつれてこれ、祖國土が踏めなかった将兵を思いやるべきでない。帰りのグラムで修学旅行に来た高校の1団と出くわした。戦争遺跡は回ったのと同じく「時間がたつてたまたま」これではいけない。ペリリュー島やコロール島は「戦争遺跡の島」といえる。是非多くの人が訪れ、戦争の無残さを知って頂きたい。

激戦の姿とどめる遺跡の数々

福山 琢磨 (新風書房表)

▼神仏合同で慰霊祭 (写真見)
「君が代」の斉唱に始まり、英霊の御霊に敬拝を捧げた後、柳澤宮司が神の饗宴との後、祝詞を奏された。続いて演野団長が「本土防衛の捨て身となる覚悟を決めた勇猛果敢に戦われ、艦砲射撃の苦痛後の弾雨にも地下壕で耐え、中川輝夫氏とともに『サクラサクラ』を打電した秘話などに触れたうえ、祖國防衛と世界平和のため大和魂を引き継いで参ります」と決意を述べた。

▼日本酒やタバコ供え合祭
仏式では小西導師が表白奉納を独りで行って、参拝された。庄司神仏合同慰霊祭の作法の一つとして、小西導師が再現された「五体投地の作法」であった。既経の流れる中、真言を捧げ、声高らかに海ゆかばを合唱した。祭壇には日本から参席の酒や生花、お菓子、タバコなどが供えられた。

▼朽ち果てたセロの残骸
ジャンクル内を自動車道で5分走ったところでセロの残骸があり機体が朽ち果てていた。操縦者ほどんかと思いつたところ胸が熱くなった。



日本軍司令部跡



現地の人達と。

▼セロ戦の残骸
▼朽ち果てた95式軽戦車

第59回	関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内		第60回
	日時	平成28年2月20日(土曜日) 午後4時から	
講師	矢野義昭氏 (元陸将補・拓殖大学客員教授) 昭和25年大阪市生、京都大学工学部卒、のち文学部中国哲学史料に学士入学、昭和49年・陸上自衛隊久留米幹部候補生学校に入校、第一師団副団長兼練馬駐屯地司令、小平学校副校長で退官。	講師	荒木和博氏 (拓殖大学教授) 昭和54年・慶応大学法学部政治学科卒、在学中韓国延世大学に短期留学韓国語を学ぶ、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会事務局長、特定失踪者問題調査会代表、予備陸曹長(技能公募・朝鮮語)。
演題	ポスト核時代のレーザー兵器の現状と展望 ミサイル問題、対テロ、情報戦などを在職中から研究 [核の脅威と無防備日本]「日本の領土が危ない」など著書多数 退官後バリの戦争経済大学でテロ問題等の共同研究で活躍中	演題	拉致被害者の両親の高齢化が進み、亡くなる人も出ている 現在、日本政府の対応などを語って貰います。著書多数
会場	錦城閣 ☎06-6941-2185 地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅直上 キャッスルホテル3F (中国料理店)	会場	5,000円(含む飲食代) 40才未満は3,000円(含む飲食代) 学生は2,000円(含む飲食代)



高橋季義初代会長墓参の記

顧問 山根 穰

愛媛県川之江町 10月24日

平成27年10月24日(土)朝、会員43名は観光バスで出発。午後、愛媛県川之江町燧灘に面した川之江港を望む小高い山裾に鎮座する法名「適水庵貫徹庵舟居士」の墓所を訪れ供養しました。

初代会長高橋季義居士の人となり、生きざまについて紹介します。
○出身は前述の川之江町、伊予三島中学校卒、海軍兵学校75期、中央大学法学部卒。
○禪の修業昭和21年大学生時代に人間禅入門、50年間と勝海舟が修業した居士禪の会の流れを汲む。
○尊敬する人は吉田松陰であった(松陰の思想信条とその生き様)。
○座右の銘は「六然(りくねん)」。自刃超然・如他騰然・有事斬然・無事澹然・得意謙然・失意泰然
高橋初代会長は、人と接するとき和やかに「和顔愛語」を終生実践された。

○平成11年4月、関西防衛を支える会を設立し「我が国の繁栄と国民の安全・平和は国の守りが優先する。国防は最大の福祉である」また「我が国は防衛問題を基本から直さない」と独立国家でなくなる、憲法改正、安全保障基本法の制定、国防省と国防軍の設置などの基本的な改正が必要だ」と講演活動など精力的に行う愛国の士であった。
○平成14年2月、急性リンパ性白血病に罹患、以来病院の科学医療と家族の介護を受ける闘病生活のなか不屈の精神力で車椅子と杖を手に講演活動に奔走された。病もその強靱な精神力に負けたのか環状状態が続き4年を経過した。しかし平成18年8月14日、82歳で帰寂された。

○平成元年社長に就任。「会社は仕事を通じて社会的使命を果たすとともに利益を上げて国家の繁栄に貢献しなければ会社の存在価値はない」とリーダーシップを発揮し「社員は宝なり、現場こそが社の命」をモットーに「明るく、暖かく、安全な職場づくり」で夢と希望に満ちあふれる会社づくりを貢献された。

以来、その伝統は継承され今日も業界一の業績を継続している。
○平成11年4月、関西防衛を支える会を設立し「我が国の繁栄と国民の安全・平和は国の守りが優先する。国防は最大の福祉である」また「我が国は防衛問題を基本から直さない」と独立国家でなくなる、憲法改正、安全保障基本法の制定、国防省と国防軍の設置などの基本的な改正が必要だ」と講演活動など精力的に行う愛国の士であった。
○平成14年2月、急性リンパ性白血病に罹患、以来病院の科学医療と家族の介護を受ける闘病生活のなか不屈の精神力で車椅子と杖を手に講演活動に奔走された。病もその強靱な精神力に負けたのか環状状態が続き4年を経過した。しかし平成18年8月14日、82歳で帰寂された。

- 一番機 海軍中佐 関行男(愛媛県西条市出身)
- 二番機 海軍少尉 中野賢雄(福島県原町出身)
- 三番機 海軍少尉 谷暢夫(京都府舞鶴市出身)
- 四番機 飛行兵曹長 永峰肇(宮城県宮崎市出身)
- 五番機 飛行兵曹長 大黒繁男(愛媛県新居浜市出身)

式典は関係団体代表や遺族の弔辞・献花に続き一般参列者の献花が行われた。続いて、海上自衛隊呉地方総監部儀仗隊の弔銃発射、追悼演奏として大正琴による関中佐の功績顕彰歌・同期の桜・若鷲の歌の演奏。また呉海上自衛隊音楽隊の演奏で参列者全員で「海ゆかば」を斉唱。最後に遺族代表の曾我部勲氏の挨拶で厳粛な式典は終了した。

戦後、日本国民が平和に暮らして居られるのは、敷島隊をはじめ最前線でも自ら命を懸けて本土を守った戦士のお陰である。参列者は壮烈な戦死を遂げられた若者たちを偲び心より感謝とご冥福をお祈りした。合掌

敷島隊員の遺書

西条の母上には幼児より御苦労ばかりおかけ致し不幸の段御許し下さいませ。今回帝国勝敗の岐路に立ち、身を以て君恩に報ずる覚悟です。武人の本懐これにすぎぬものはありません。鎌倉の御両親におかれましては本心に心から可愛がっていただきその御恩に報ゆる事も出来ず、征く事を御許し下さいませ。本日帝国のため身を以て母艦に体当たりを行い君恩に報ずる覚悟です。皆様御身大切に。

真理子様(新婚3ヶ月の妻宛)
何もしてやる事も出来ず散り行く事はお前に対して誠に済みぬと思つて居る。何も言わずとも武人の妻の覚悟は充分出来て居ると思つて居る。孝養を専らと心掛け生活して行く様色々思い出をたどりながら出発前に記す行男

父上様母上様
お父さん、お母さん。私は天皇陛下の子として、お父さんお母さんの子として、立派に死んで生きます。喜んでいてまいります。ではお身体を大切にお暮らし下さい。さよなら

＊海軍少尉谷暢夫 大君の御楯の翼 あざやかに 出て行く音すらをまもれんや
＊海軍飛行兵曹長永峰肇 南海に たこえ此身は 果つるとも 幾年後の 春を想えは
(注・敷島隊五勇士の階級は戦死後に二階級特進したものです) 以上

戦艦大和の洋上慰霊祭に参加して

元陸将補 武政 賢一



この度、関西防衛を支える会々長・瀧野さまのご尽力により平成27年9月28日から30日の間、大東亜戦争終結70年洋上慰霊祭に家内とともに参加することができました。9月28日朝、神戸港中央突堤旅客ターミナルから客船「ほしふいっくびいなす」に乗船し午前10時に出港しました。台風21号が発生し最悪の場合、本慰霊祭が中止になるのではと心配していましたが台風の進路が西に逸れたため開催となりホッとしましたが、家内も乗船当初は機嫌だったのですが、船が太平洋に出る頃になると台風の影響で次第に縦揺れと横揺れが激しくなり、家内はベッドでダウン(食事はすっかり採っていません)が、私は酔いっぴりの前に酒に酔おうと二人でウィスキーを飲んでいました。

二日目になると波は少し穏やかになりましたが、雨天のため慰霊祭は船内で行われることになりました。慰霊祭は神式と仏式で厳粛に執り行われた後に献花となりました。献花の際にはそれまでの雨が上がり時折陽がさす中で花を捧げることができました。献花の後、会長・夫妻を囲み関西防衛を支える会の皆様と写真を撮ることができた良い記念となりました。

戦艦「大和」は昭和20年4月7日、米軍の攻撃を受けて沈没しました。福岡県出身の司令官・伊藤整一(海軍中将(戦死後大將))は約3400名の部下乗組員とともに海中に没した。大和の生存者はわずか104名、全体の3%に過ぎなかったのです。

世界的な軍艦評論家のオスカー・パークスは「大和」はその排水量を最高度を利用して、信じ難いほどの威力を備えた大戦艦だが、不幸にして、用兵者がその使用目的を誤ったために、本来の目的に使われずに終わった。かくして英米10万の海上戦艦員は、その威容を見ることができず、わずかに限られた少数の飛行機搭乗員のみが、それを見たにすぎなかった」と記しています。

その後、波は静かになり家内も元氣を取り戻し、各種の講演会や催し物を楽しみ、食事・喫茶を味わい有意義に時間を過ごし30日の午後6時に神戸港に到着しました。

今回の慰霊祭に参加して散華された御霊に感謝と敬意の誠を捧げることができました。そして、自らの使命を深く認識し重要な任務遂行に全力を尽くされた先人を思うと本当に感慨深いものでした。自らの命よりも大切な

人や我が国のために散華された人々を思うに自分自身の自衛官人生が走馬灯のように浮かぶのでした。自衛官としての人生は使命を自覚し、その任務を遂行するために日々でありました。

防衛大学校卒業後、陸上自衛官として最初の勤務地は北海道鹿追駐屯地に所在する第五戦車大隊でした。戦車小隊長として74式戦車4両を指揮し当時のソ連の戦車部隊等を撃破するため懸命に訓練しました。普通科連隊や戦車大隊が参加する大規模な訓練時はソ連からの妨害電波をうけました。当時のソ連は自衛隊の訓練内容、無線周波数等何でも承知していることと圧力をかけてくるものでした。またある時は北海道中央部の山に行き「こはソ連が進攻してきた時の最終確保陣地である。陣地を偵察せよ」と言われ戦車陣地を懸念に選定したこともありました。いつも戦車小隊長として如何にして敵戦車を撃破し、日本を守るのかについて考えていました。

戦車中隊長は岡山県日本原駐屯地において第13戦車大隊で勤めました。平成時代になり好景気の中、小隊長時代より古い61式戦車に乗り、協同する特科大隊は大東亜戦争時に米軍が使用していた砲と同じタイプの105ミリ榴弾砲、普通科中隊の装備も旧陸軍と大差無く保有する車両は僅か隊員の移動する手段は徒歩でした。そのような状況下、隊員とともに61式戦車等の古い装備の能力を最大限発揮して敵に勝利するために訓練を行いました。旧式装備でPKO活動等の新たな任務を遂行できるのだろうかと感じたことも事実でした。

その後、陸上幕僚監部において戦車部隊の編成等に携わり陸上自衛隊、戦車部隊の近代化のために微力ながら努めました。

そして、北海道恵庭駐屯地で第72戦車連隊長に着任しました。当時、最新鋭の90式戦車を装備し戦車部隊のありべき姿を目指して訓練しました。また、訓練のみならず受け持ち地域の災害派遣や即応性の維持向上の重要性にも認識して力を注ぎました。

東京都練馬区に司令部を置く第1師団司令部幕僚長時、平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。非常に大きな揺れを感じ直に非常勤務態勢を取り災害派遣活動を開始しました。被害状況等の情報収集に努め、その日の夕には第1師団の担任地域である茨城県に2個普通科連隊基幹の部隊を前進させるとともに師団司令部の一部をへり派遣し翌朝から捜索・救助活動を開始し、爾後約3週間缶詰状態で行動しました。その間、日本の首都である東京防衛と担任地域の災害派遣という二つの任務をいかに遂行するかということに腐心しました。

私は自衛官としては任務を終了しましたが、退官を寂しく思う一方で肩の荷が下りた気もします。本慰霊祭に参加して英霊に誠を捧げるとともに、日本の独立と平和を守る自衛隊の支援に微力ながら努めることを心に誓いました。

以上

必勝の布陣を

前衆議院議員 西村 真悟



我が国防衛を支える闘志の元に集われる「関西防衛を支える会」の皆様、新年、おめでとうございます。謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。また、まことに誠に我が国を取り巻く内外の情勢と、私の所信を申し上げます。

結論から申し上げますと、我が国は、現在、「日露戦争前後」の危機に直面しております。従って、正月元旦に思い浮かべるべきは、

百一年前の明治三十八年正月元旦、午後四時半の、「旅順開城」即ちロシア帝國の旅順要塞を乃木希典大將率いる第三軍が陥落せしめたこと、さらに同年三月十日、午後五時、我が大阪の郷土部隊である歩兵第三七連隊第二大隊が奉天に突入して城内に日の丸を掲げた世界戦史上最大の陸上戦闘となった奉天大会戦勝利(陸軍記念日)です。何故なら、この連続する二つの熾

烈なる戦闘の勝利と同年五月二十七日の東郷平八郎提督率いる連合艦隊の「日本海海戦勝利(海軍記念日)」によって我が国はロシアに對し「皇國の興隆をかけた歴史の勝利を得たから」です。では、日本を圧迫したロシア帝國の意図とは何か。それは、ロシア海軍司令部編纂の「千九百四、五年露日海戦史」にある「ロシアは(アジア制覇のために)日本人を撃破するのみにては

は不十分で更に之を殲滅せざるべからず」という驚くべき記述の通りです。そして、ロシア軍首脳は日本との戦争を「軍事的散歩」と豪語したのです。その時、日本の陸上兵力はロシア軍(約五百万)の九パーセント弱、ロシア海軍は船舶の総トン数で日本海軍の二倍、戦艦の数では三倍でした。しかし、我が国は、勝利しました。その勝利はイギリスの親戦武官が本国に報告した通り、日本軍兵士の天皇に対する忠誠心から生まれる「英雄的な献身と卓越した勇気」によってもたらされたのです。よって、我々はまず、日露戦争を

勝利に導いた天皇を戴く我が国体と、先祖の鬼神に恥じぬ勇戦奮闘と武勇に感謝し、その上で、新たに本年の覚悟を固めねばなりません。そこで現在、百一年前のロシア帝國の如く、日本を屈服させてアジアを制覇せんとしている大陸國家、それは、まさに、中共ではありませんか。中共は、軍備拡張を続ける共産党独裁國家にして力の信奉者です。従って我々は、古代ローマ以来の鉄則に基づいて、皇國の安泰のために、断固として必勝の布陣を整えねばなりません。その鉄則とは、平和を望むならば戦いに備えよ!

また市バス運転手の年収1千万円や学校給食の女性職員が8百万円越える年収を得るなど、あらゆることに弊害が現れていた。府市職員組合との馴れ合いの結果である。

橋下(知事)市長の登場による給料や退職金の減額を受けた教職員組合や市職労は市長を「ハンゲ」と隠語で呼んでいた。区役所の玄関には市職員組合のポスターがベタベタと貼ってあり労働組合事務所に来たような雰囲気であり、ピース大阪なる公営建物の展示物は反日の臭気だどう異様な内容だった。それらを放置して来たのが自民党行政であり、是正したが橋下市長を中心とする新保守勢力の維新の会である。

新年のご挨拶

関西防衛を支える会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。航空百衛隊出身、「空翔ぶ参議院議員(こと宇都隆史(うとたかし))です。昨年は公私に渡りご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も変わらぬご厚情を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

今年の選挙に向けた励ましの言葉をいただきましたことを、本紙をお借りして改めて御礼申し上げます。

さて、昨年の通常国会においては、「平和安全法制」が成立を致しました。今回の法案は、激変する安全保障環境の変化に適應するため、現行の憲法の範囲内において集団的自衛権の一部容認や、重要影響事態の後方支援助活動や船舶検査の拡充、PKO等における任務遂行型の武器使用等を可能にしたという意味で、極めて画期的な前進でした。しかし、審議は入り口論や末節論に終始し、なかなか一般の有権者には理

解しづらいものであったことは反省をしなければなりません。今回の法案の成立は、誠に喜ばしい事なのですが、残された課題に對し、政府は今後しっかりと向き合う義務と責任があります。

第一に、任務を拡大する以上、それに見合う人員と予算をつけることです。既に現場の部隊には余力など無く、フル稼働の状況である

野に入れた国民議論を巻き起こすことが重要で、前国会で成立させられなかった法律に「海外戦没者遺骨帰還推進法」があり、私が党特別委員会の事務局長として法案を作成した議員立法であり、その趣旨は「集中取組期間として10年を設定することで予算を優先的に確保し、戦没者遺骨の帰還を国の責務と位置付け、担当官庁が直接指導する指定法人に事業を委託すること」で、より効率的・計画的に帰還事業を行う」というものです。既に各党会派の賛成の了承を取り付け、審議に係れば質疑を省略して成立することが見込まれていたのですが、前国会では終盤の平和安全法制に絡む政局に飲み込まれ、「継続審議」となってしまう。戦没者遺族も平均年齢が80歳以上となり、本事業には時間的猶予もありません。今年の通常国会にて、何とか成立させ

べられていた。パオ共和国では、戦争遺跡は撤去する事も、移動させる事も法律で禁止されている。そのため、ために零戦や戦車が70年前の無念を残した姿で保存されている。

＊ウクライナの人、アンドリー君と話をしていた彼のロシア大統領プーチン氏への詰問に納得したので講師を依頼した。共産主義から迷惑を受けた国として日本とウクライナは共通項がある、など日本の近衛文麿内閣に集った共産主義者を例にして語るなど日本の近代史にも詳しい。いざれ東欧出身者として日本のマスコミに登場するだろう。

＊旧聞になるが、大阪W選挙で自民党が惨敗した原因は、既得権益のしがらみから脱却できなかった事につきるのではないかと。

この50年間、左翼論者知事、中馬警市長時代から見ているが市長は助役出身者、知事は中央官庁出身者など操りやすい候補者を擁立してきた。既得権益を守るだけの自民党行政に警鐘を鳴らしたのが、橋下徹という織田信長のような奮勇の改革者である。その改革の姿勢にいち早く感心し維新に移ったのが自民党所属の府市会議員だった。彼らは雪崩をうって維新に移った。

外交安保に尽力

参議院議員 宇都 隆史



昨年の一年を振り返りますと、安倍総理の下、「決断する政治の推進を図り、文字通り「日本を取り戻す」ための各種施策を更に押し始めた一年だったように思います。また、私事として昨年の10月の改造内閣において、外務大臣政務官という大役を兼ねる勤め上げ、国防政策と一体となった外交政策の推進に邁進し、国際的な視野を持って多くのことを学ばせて頂きました。多くの皆様より労いと

園内において集団的自衛権の100%充足とそれを支える態勢の後方支援助活動や船舶検査の拡充、PKO等における任務遂行型の武器使用等を可能にしたという意味で、極めて画期的な前進でした。しかし、審議は入り口論や末節論に終始し、なかなか一般の有権者には理

解しづらいものであったことは反省をしなければなりません。今回の法案の成立は、誠に喜ばしい事なのですが、残された課題に對し、政府は今後しっかりと向き合う義務と責任があります。

野に入れた国民議論を巻き起こすことが重要で、前国会で成立させられなかった法律に「海外戦没者遺骨帰還推進法」があり、私が党特別委員会の事務局長として法案を作成した議員立法であり、その趣旨は「集中取組期間として10年を設定することで予算を優先的に確保し、戦没者遺骨の帰還を国の責務と位置付け、担当官庁が直接指導する指定法人に事業を委託すること」で、より効率的・計画的に帰還事業を行う」というものです。既に各党会派の賛成の了承を取り付け、審議に係れば質疑を省略して成立することが見込まれていたのですが、前国会では終盤の平和安全法制に絡む政局に飲み込まれ、「継続審議」となってしまう。戦没者遺族も平均年齢が80歳以上となり、本事業には時間的猶予もありません。今年の通常国会にて、何とか成立させ

べられていた。パオ共和国では、戦争遺跡は撤去する事も、移動させる事も法律で禁止されている。そのため、ために零戦や戦車が70年前の無念を残した姿で保存されている。

＊ウクライナの人、アンドリー君と話をしていた彼のロシア大統領プーチン氏への詰問に納得したので講師を依頼した。共産主義から迷惑を受けた国として日本とウクライナは共通項がある、など日本の近衛文麿内閣に集った共産主義者を例にして語るなど日本の近代史にも詳しい。いざれ東欧出身者として日本のマスコミに登場するだろう。

＊旧聞になるが、大阪W選挙で自民党が惨敗した原因は、既得権益のしがらみから脱却できなかった事につきるのではないかと。

この50年間、左翼論者知事、中馬警市長時代から見ているが市長は助役出身者、知事は中央官庁出身者など操りやすい候補者を擁立してきた。既得権益を守るだけの自民党行政に警鐘を鳴らしたのが、橋下徹という織田信長のような奮勇の改革者である。その改革の姿勢にいち早く感心し維新に移ったのが自民党所属の府市会議員だった。彼らは雪崩をうって維新に移った。

先陣を切ったS市議と府議に聞くと、自民党中心の行政では大阪の閉塞感に払拭できない、ために維新に参加したと語っていた。

＊新年号は、ペリリュー島慰霊祭が中心となった。小西僧正の「表白」を是非とも読んで頂きたい。忘れていた清澄な日本語が繰り述

ナノで吸収率5倍
沖縄もすぐ抽出エキス「フコイダン」
楽天1位の大人気商品

ココロカルス
フコイダンライフ・ナノ

ナノカプセル化フコイダン配合
フコイダンライフ・ナノ
18,900円+税、1.2g×60包入

美と健康の
ビー・エイチ・ラボ
http://www.rakuten.co.jp/bh-labo/
0120-919-704
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10

安保法制
自衛隊
これからの自衛隊は どう変わるべきか

防大7期の戦闘機乗りが、又も放つ国防基本解答書

著者 佐藤 守 (元空将)
青林堂出版
定価1200円+税

今ももっともタイムリーな自衛隊本!

後編 記集

＊謹賀新年、今年も宜敷お願い申し上げます。高橋初代会長の墓参記を山根頼問が記していますが、この機関紙が「3号紙」とならぬように、と高橋会長から激励を受けた事を懐かしく思い出すが、お陰で65号まで辿り着きました。皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

高橋会長追悼記を出版したとき、表紙に「國土」と入れたかったが、事情により断念した。しかし、國土と呼ぶにふさわしい人だった。若い時から高橋会長より薫陶を受けた山根頼問と話をしていた共通の感懐に参加したと語っていた。

＊新年号は、ペリリュー島慰霊祭が中心となった。小西僧正の「表白」を是非とも読んで頂きたい。忘れていた清澄な日本語が繰り述

謹賀新年

新春を迎え
皆様のご多幸を、
お祈り申し上げます

平成二十八年元旦



前衆議院議員

三宅博

真正保守のオビニオン紙
新聞『アイデンティティ』
発行人・主幹

葛目浩一

〒651-2135 神戸市西区王塚台三十五十二
電話・FAX 〇七七八九二八二六〇五

コンピュータソフト開発全般

株式会社 エヌエスアール

〒550-0014 大阪市西区北堀江一丁目五十二
四ツ橋新興産ビル11F
TEL 〇六六五三六一四七
FAX 〇六六五三六一三六一六
URL <http://www.nsr.ne.jp>
Email: nain@nsr.ne.jp

自衛官募集相談員
関西防衛を支える会

山下弘文

事業部長

関西防衛を支える会 会長
(株)経営センター社長

濱野晃吉

〒542-0081 大阪市中央区南船場三十一番十一
心斎橋 大陽ビル
TEL 〇六六二四一〇二四
FAX 〇六六二四一七四八九

(株)阿波彌運送部

代表取締役
会長 **大畑可奈子**

〒537-0021 大阪市東成区東中本3-5-24
TEL 〇六六九七六〇七三二(代)
FAX 〇六六九七六〇七四六

神洲正氣の會

理事長 **岡島茂雄**

〒666-0137 兵庫県川西市湯山台二丁目一七二
TEL 〇七二七九三二五九三〇
FAX 〇七二七九三二五九四一

株式会社 マツダスクリーン

代表取締役 **松田清**
(関防会副会長)

〒599-8102 大阪府堺市東区石原町一丁目三番地の二
TEL 〇七二二五八〇〇〇二
FAX 〇七二二五八二二八一
URL <http://www.matsuda-screen.co.jp/>

保険の窓口グループ
(株)ライフプラザパートナーズ

高田裕士

〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町八番一号
梅田阪急ビルオフィスタワー29F
携 帯 〇九〇三九七八一七九八六
TEL 〇六六三三三一九八八五
FAX 〇六六三三三一九九九五

衆議院議員
自民党政調会長

稲田朋美

元海上保安官

一色正春

十一月三日を「明治の日」に！
関西「明治の日」推進協議会

事務局 〒六〇六八二二六
京都府京都市左京区一乗寺宮ノ東町
十七詩仙ハイム四〇二
金子宗徳方

◆旅のことなら何でも
お気軽にご相談ください◆
株式会社 浪速観光社

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋五丁目三十一番地
TEL 〇六六六五三二四二二
FAX 〇六六六五三二八七六
E-mail: nainvass@h6.dion.ne.jp

関西防衛を支える会

事務局長 **前田稔**

勤務先 〒553-0006 大阪市福島区吉野四丁目九一〇
(連絡先) TEL/FAX 〇六四三〇二五二八七
携 帯 〇九〇三三八六〇八三二
E-mail: maedamin@yahoo.co.jp

衆議院議員

山田賢司

日本会議女性の会 運営委員長
関西防衛を支える会 常任理事

濱野矢代依

大東塾不二歌道会
大阪支部長

赤田正和

陸上自衛隊予備自衛官36会 相談役
関西防衛を支える会 事業副部長
社団法人 大阪府隊友会 副会長
隊友会 北大阪地区支部協議会 会長

保口廣幸

皇室の弥栄を
ご祈念申し上げます。

釋迦郡文雄

前衆議院議員

西村真悟

近畿偕行会
特攻勇士顕彰会

会長 **中一皓**
(防大7期・テストパイロット)

〒573-1106 大阪府枚方市楠葉一丁目五十八
TEL 〇七二八五〇一四二六
FAX 〇七二八五〇一四二六

関西防衛を支える会

監事 **梶川勝平**

〒599-8125 堺市東区大美野八六番地六
TEL 〇七二二二七六〇九三
FAX 〇七二二二七六〇九三

関西防衛を支える会

常任理事 **北島一憲**

〒584-0094 富田林市富美ヶ丘町一三一一〇
TEL 〇七二二二五二六四二

企画・デザイン 印刷全般
南陽印刷株式会社

代表取締役 **河合雄一**

〒558-0055 大阪市住吉区万代三丁目二一五
TEL 〇六六六七八一三六六一
FAX 〇六六六七八一三六六一
E-mail: inf@nanyo-net.com